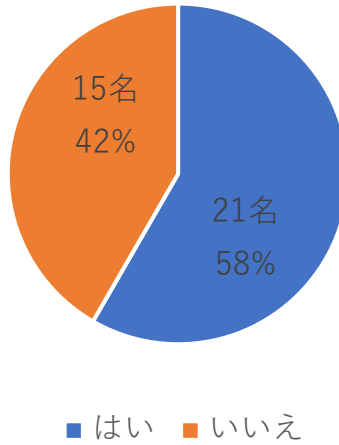


## モデル授業アンケート結果

江東区立八名川小学校【保護者】

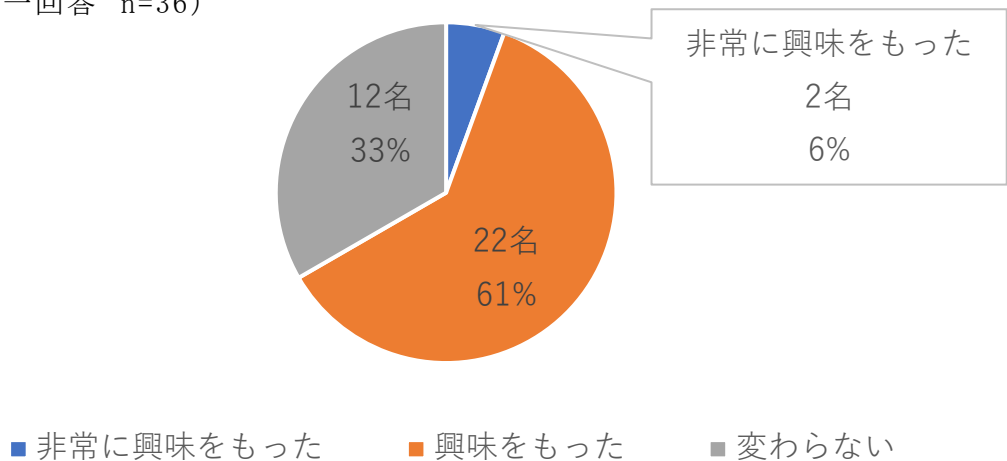
設問1:「わたしたちと和食」授業(以下、「モデル授業」)の話がご家庭で話題になりましたか。(択一)

図1 (単一回答 n=36)



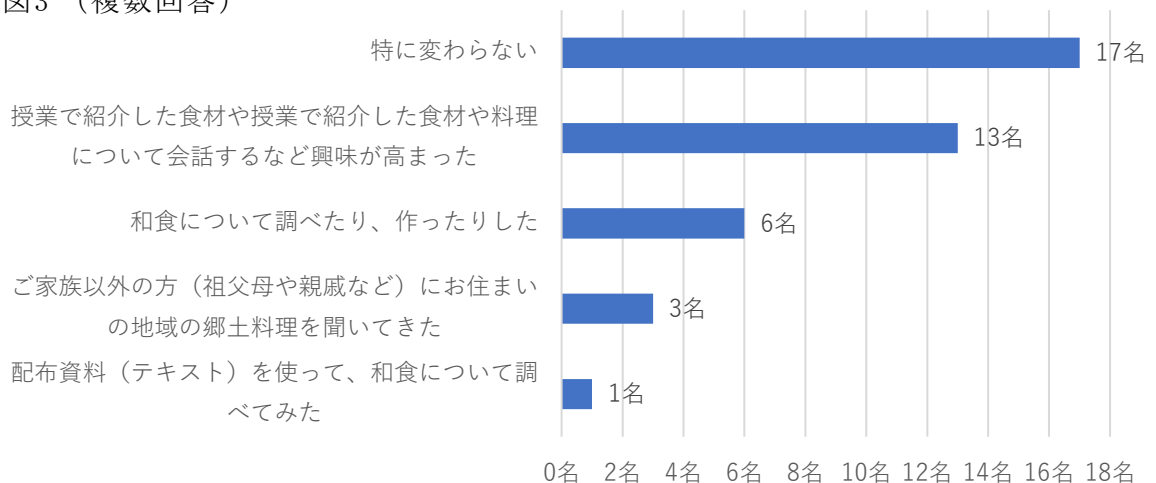
設問2:モデル授業を受けた後のお子さんの反応は、いかがでしたか。(択一)

図2 (単一回答 n=36)



設問3:モデル授業では、児童に和食の特徴などについて発表をしていただきました。お子さんはその後、学びを深める(調べる・料理を手伝う)などの行動はございましたか。(複数回答)

図3 (複数回答)

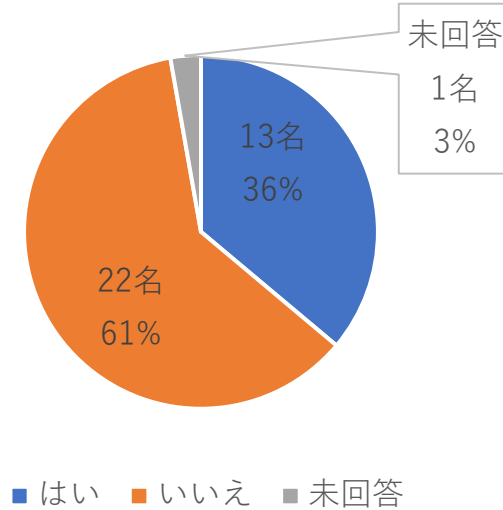


## モデル授業アンケート結果

江東区立八名川小学校【保護者】

設問4:ご家庭において、お住まいの地域や保護者等のご出身地域の郷土料理を作られますか。(択一)

図4 (単一回答 n=36)



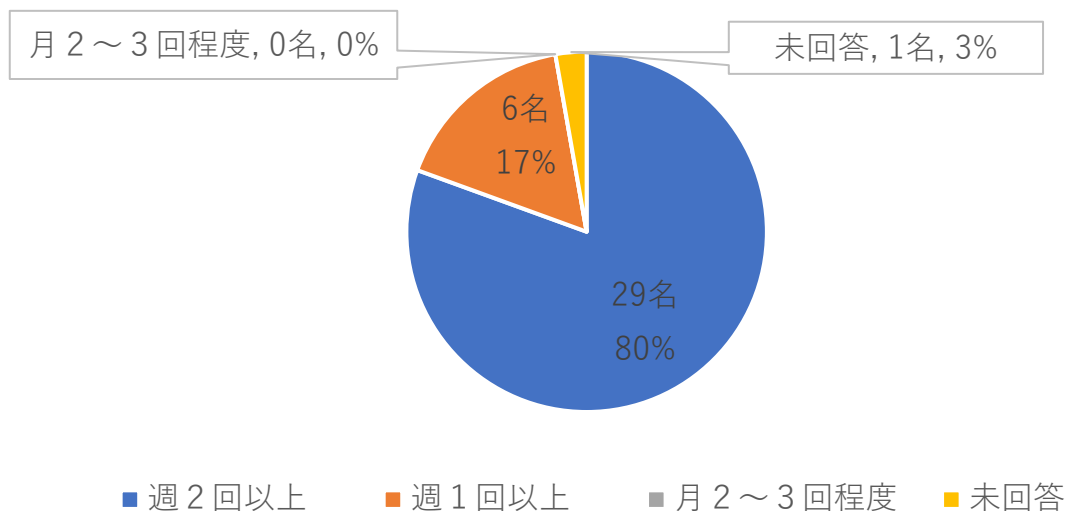
設問5:設問4で「はい」と答えた方に質問です。どのような料理を作られますか? (自由記載)

(自由記述)

雑煮、きりたんぼ鍋、ザンギ、いしもち、赤飯、油揚げを使ったもの、笹かまを使ったもの、山菜を使った料理、ちらしずし、たこめし、かわらそば、静岡おでん、とろろ汁、味噌煮込みうどん、おぐらトースト、雑煮など(九州)、かぶらずし、深川めし、さんがみそおでんはみそだれ、赤みそを使ったり

設問6:ご家庭において、和食が食卓に上がる頻度はどのくらいですか。

図6 (単一回答 n=36)

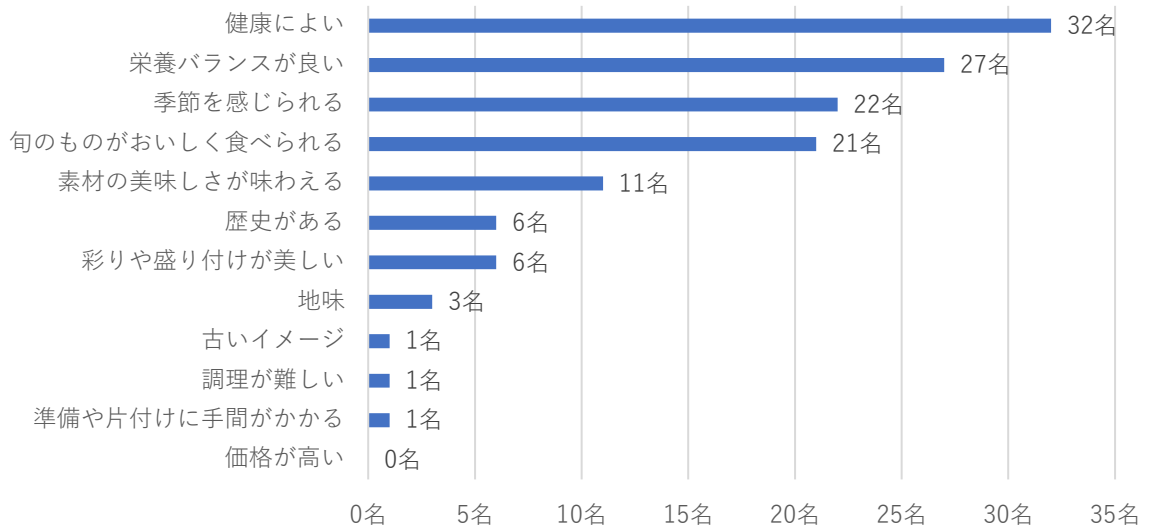


## モデル授業アンケート結果

江東区立八名川小学校【保護者】

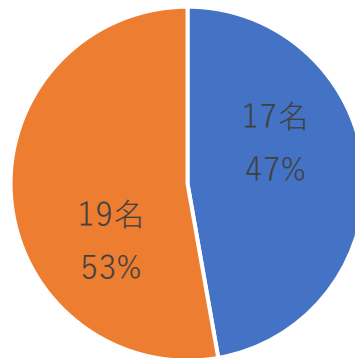
設問7:和食についてのイメージはどのようなものですか。(複数回答)

図7 (複数回答)



設問8:「和食;日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っていたり、聞いたことがありますか。(択一)

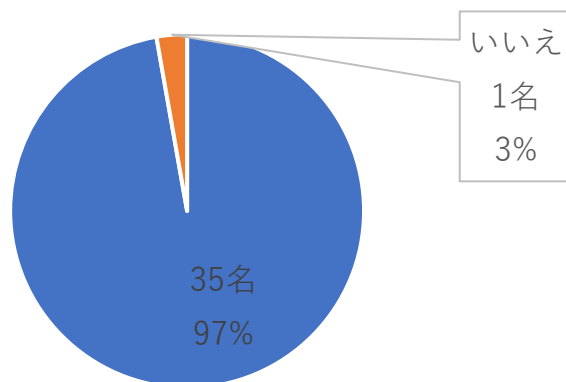
図8 (単一回答 n=36)



■ はい ■ いいえ

設問9:今後も学校において「和食」の授業を定期的を実施してほしいですか。(択一)

図9 (単一回答 n=36)



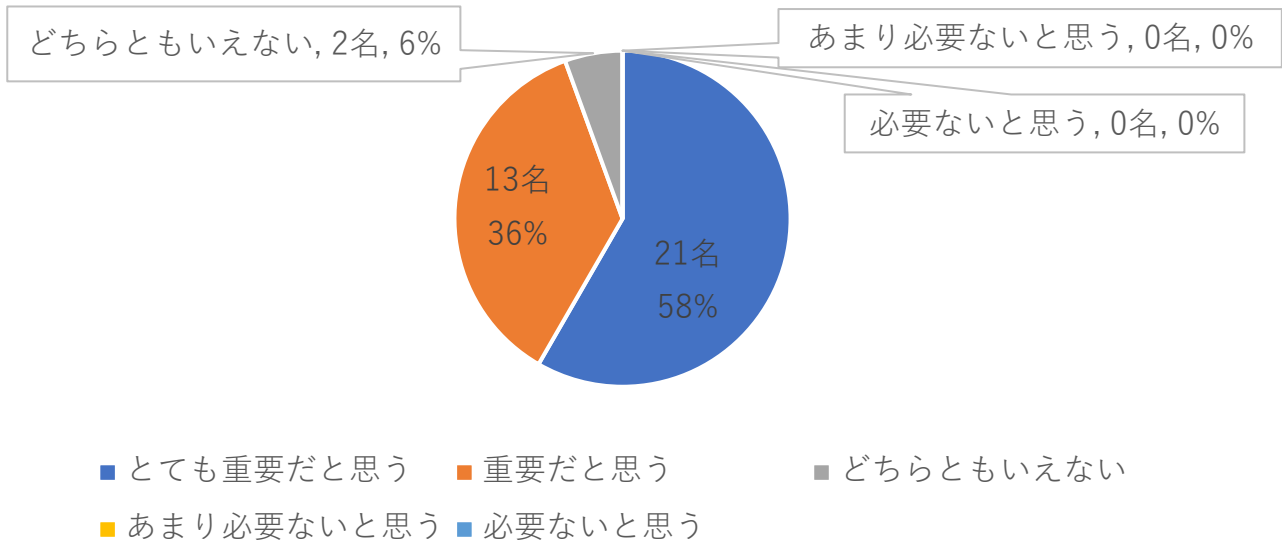
■ はい ■ いいえ

## モデル授業アンケート結果

江東区立八名川小学校【保護者】

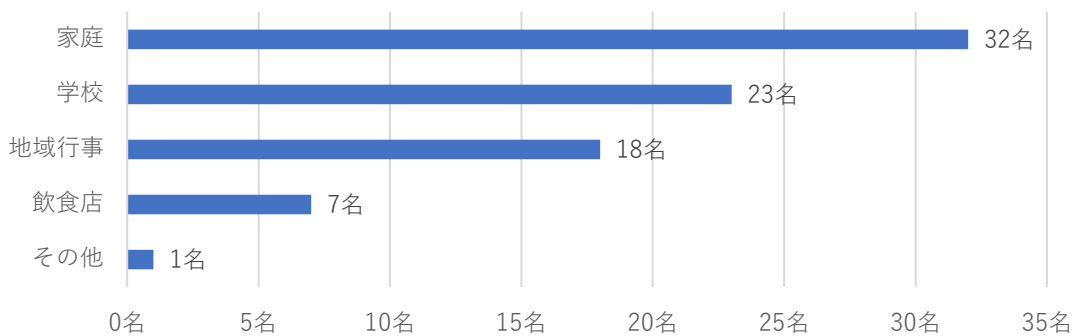
設問10:和食文化を次世代に継承することは重要なことだと思いますか(択一)

図10 (単一回答 n=36)



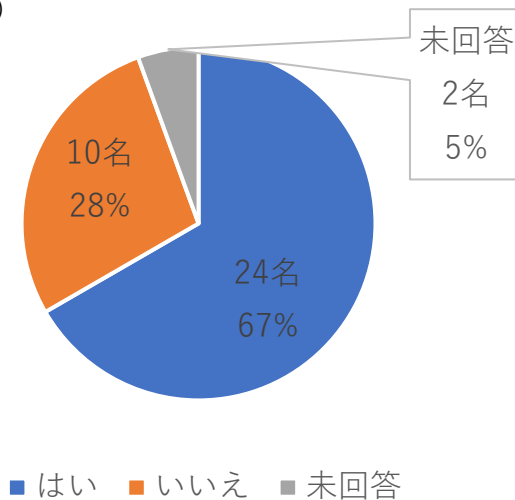
設問11:和食文化を保護継承する場として適切な場所はどこだと思いますか(複数回答)

図11 (複数回答)



設問12:親世代向けにも和食を学ぶ機会があれば受けたいと思いますか(択一)

図12 (単一回答 n=36)



## モデル授業アンケート結果

江東区立八名川小学校【保護者】

設問13: 上記の設問で「はい」と答えた方にお伺いします。どのようなテーマが学べるとよいと思いますか(自由記述)

(自由回答)

- ・魚嫌いな子が魚を食べれるような料理
- ・季節料理や節分やひなまつりなど行事料理について、なぜ恵方巻を食べるかなど子供にもわかりやすく教えてあげられると思ったので
- ・料理教室
- ・和食と家族の健康
- ・時短和食料理
- ・地域の和食について作って食べるような機会
- ・日本の伝統ある和食について学びたい
- ・だしについて
- ・その地域の郷土料理について
- ・簡単に作れる和食レシピ。全国にある和食の紹介、レシピ紹介
- ・郷土料理
- ・調理の仕方やレシピ
- ・和食作りの基本など
- ・季節行事に合わせた料理
- ・和食特有の調理方法、味付けのしかた
- ・家庭でできる簡単和食料理講座があると嬉しい
- ・家庭での和食の取入れかた
- ・基礎のこと

設問14: 和食、和食文化を継承していくには何が必要だと思えますか。(自由記載)

(自由回答)

- ・好き嫌いがなく何でも食べれること
- ・家庭で和食を並べた時に自然と会話で伝えれること
- ・調理実習や今回のような授業など学びながら食べられる機会
- ・海外の文化を学ぶこと
- ・家庭で親しみをもつ
- ・美味しくいただくこと、家庭で作ること
- ・実際に作って食事
- ・食に興味をもつこと
- ・親が意識して、和食を作って子供に食べさせるか
- ・調理実習。給食のこんだてに取り入れる
- ・各家庭で和食が食卓に並ぶ事
- ・調理手順の簡素化、時短。
- ・味噌づくりや醤油工場見学などがあると記憶に残りやすいと思います。
- ・種類(メニュー)や調理法
- ・和食を子供と一緒に食べる
- ・和食のよさについて学校でも学ぶ機会をつくることや家庭でも親から子へ和食のこんだてや調理方法を伝えて引き継いでいくことが必要
- ・日頃から親しみをもっていただくこと
- ・実際に食べたり作ったりすること
- ・和食のおいしさを改めて周知していく
- ・多世代で食事を囲む、一緒に作ったものを食べる
- ・料理を色々つくる事